# 令和5年度 事業計画書



# I 法人の基本理念と運営方針

社会福祉法人慈青会の理念と事業の運営方針は、次のとおりです。 この理念と運営方針は、毎年度の事業方針と計画の基本となるものです。

## 1. 基本理念

- ① 高齢者が楽しく尊厳ある生き生きとした暮らしをささえます。
- ② 地域と共に歩み、地域社会福祉の担い手として、すべての人が幸せを感じることのできるよう社会貢献に努めます。

## 2. 運営方針

- ① 利用者の自己決定と選択を尊重し、その権利を擁護するとともに、個人の尊厳に配慮した良質かつ安心・安全なサービスを提供を基本とする。
- ② 専門的な知識や介護技術の向上を図り、利用者の意向や意志を尊重した考え、行動ができる職員の育成に努める。
- ③ 地域住民の一員として、地域に根ざし地域における社会資源としての法人機能等を提供し、地域のネットワークを確立する。

## Ⅱ 令和5年度 法人全体の目標

#### 1. はじめに

新型コロナウイルス感染症の発生から3年余りが経過し、5月8日から政府の新型コロナウィルス感染症対策本部において、感染症法上の分類を季節性インフルエンザと同等の5類感染症に位置づけることが決まり、これまで講じてきた各種の政策・措置について見直しを行うこととなりました。今日まで、利用者の皆様には、外出制限、面会制限等を辛抱いただくことばかりの3年間ではありましたが、これからは少しずつ従来の生活が取り戻せると期待しています。また、6月からは、青森市合浦にグループホームを開設します。これを機に、「地域との連携・貢献」・「風通しの良い職場環境創りと人材育成」という目標に向けて、更なる施設の人材や機能を地域に還元する取り組みを推進し、両施設の強みを活かした予算の組み方や、両施設の人事交流を活かした人件費の効率的取り組みを実施していくとともに、両施設の介護サービスや総務管理体制基盤の整備を行い、整合性のあるサービス提供に力をいれていきます。

#### 2. 年間の目標

#### (1) 新規事業への取り組み

青森市合浦に 6月開設予定の認知症対応型共同生活介護(グループホーム:2 ユニット 18 名)事業所「グループホーム合浦」開設に伴い、早期に安定したサービスが提供できるよう運営体制の確立に努め、入居申込者の受け入れ準備、介護体制の整備、事前の職員採用・研修を計画的に行い、開設と同時にスムーズな運営が行えるよう体制構築に取組んでいきます。

#### (2) 地域貢献

「特別養護老人ホームささえ」並びに、新規に開業する「グループホーム合浦」を共に「地域に開かれた施設」にするために、利用者の皆様は地域の一員であり、身近にある福祉サービスの要の役割を果たすと心得ますので、当法人並びにこれらの事業所は、地域に必要不可欠な存在であり続け、かつふさわしい活動をしていきます。

#### (3) サービスの質の向上と安定的な稼働率の確保

各職員が、施設内外の研修に積極的に参加し、そこで習得した知識・技術を皆で共有できる体制を強化し、実践を重ねることでサービスの質を継続的に確保できるよう、また研修等で新たに得た知識・技術をサービスに反映させることにおいて、サービスの質の向上にも努めていきます。そして安定的な稼働率確保のため、各拠点のサービス事業所の特性を最大限発揮できるよう会議等において、情報共有やそれぞれの課題の共有・検討を行い、その拠点ごとの特性に応じた利用希望者の紹介やニーズの発掘を行うなど、拠点間の連携強化をはかりながら法人全体の稼働率の安定へとつなげていきます。

#### (4) 人材確保(人材育成)

人材定着の取り組みとしては、法人全体での研修、習熟度にあったキャリアアップ研修を計画的に行い、介護技術だけではなく幅広く知識・技術の向上及びフォローアップのための体制の強化も行い、処遇改善加算等を有効かつ柔軟に活用し、職員処遇の向上や雇用の安定に取組んでいきます。就活サイトや法人ホームページを活用し、魅力を発信をすることや、人材育成のための研修等を計画的に実施するとともに、職員の定着率を高めるための新採用者のフォロー等を実施します。職員の職場や仕事に対する思いを見える化し、働きやすい職場環境につなげ、職員を大切にし、職員が生きがい・働きがいを感じられる職場づくりに努めます。

施設	施設の具体的目標	指標・成果	到達						具体的	行動計画					
目標			時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
健	利用者数や稼働状況を常に分析 し、稼働率の向上を目指す。 1	特養稼働率98%	通年	ながら、行	寺機者の確保を	図る。				│ 、日頃から包括 制や、病院との		 および居宅介護 る。	支援事業所や	 各サービス事 <sub>:</sub>	業所と連携し
全経営	科学的介護を導入しケアの質の 向上を図る。 2	LIFE の活用及び PDCA サイクルの構築に取り組む。	通年			関連を 関連を 関連を 関連を 関連を 関連を 関連を 関連を 関連を 関連を		重度化の防止	及び中・重度2	介護、認知症介	護の質の向上	に努める。多職	種との連携を	図り、利用者	に応じた機能
地域貢献	地域の活性化、つながりの構築に向け、運営推進委員会(2ヶ月に1回)を開催し、多様な関係機関や個人との連携・協働を進め、気軽に集まれる居場所作りなど地域福祉課題に積極的に取り組みます。	①地域活動への参加 ②地域への情報発信	通年	<ul><li>各行事、/</li><li>運営推進会</li></ul>	バーベキューな 会議(2か月に		気軽に来ていた	こだけるような	ロする。① よ取り組みを行	j. 1					
利用者	利用者が自己決定・自己選択で きる環境を作り望む暮らしが継 続できるよう取り組む。 1		通年	<ul> <li>それぞれの職責・職種による責任や役割を明確にする。①</li> <li>倫理観と法令遵守を高める教育の実施に丁寧に取り組む。①</li> <li>利用者本位という大原則をもう一度確認し、実際に提供しているケアの内容や方法がそれに基づいたものであるかをチェックする。①</li> <li>毎月の施設内研修を実施しスキルアップを図る。②</li> <li>③観桜会 藤狩り ドライブ ねぶた祭り 納涼会 敬老会 ドライブ・買い物 紅葉狩り クリスマス会 お正月 節分 ひな祭り会</li> </ul>											
サービスの向上	活動を活性化させ、それぞれの	施 ②統一したケアの提供	通年	・ ケアプランに基づいたサービスを提供するために、機能訓練、栄養管理、看護、介護との定期的な会議を開催する。① ・ 理念や目標を周知、共有し職員間の考え、価値観を擦り合わせ、目指すべき方向性を揃える。② ・ 良いチームワークをもつことで、職員同士のフォローも可能となり、結果として利用者へのサービスの質を上げることにつなげる。② ・ 各種委員会が企画する研修・栄養管理に関すること・身体拘束廃止、高齢者虐待に関すること・事故防止、感染症予防に関すること・褥瘡予防に関すること③ ・ 主治医、及び各部署と連携を図り、入居者の健康状態の維持管理を行う。入居者および家族の意思を確認し、各部署と連携を図り看取りを実施する。④ ・ 1日に必要な栄養素を摂取できるよう、栄養バランスの取れた献立を作成する。⑤ ・ 入居者の状態把握に努め、咀嚼力に合わせて調理法を工夫する。⑤											
人材確保(	職員研修を実施しレベルアップを目指す。	①毎月1回の内部研修の実施 ②避難訓練への参加 ③外部研修への参加	通年	①感染症対策 ② ・ユニット!	口腔ケア	認知症について認知症が悪い。認知症介護実	接遇と コミュニケー ション 浅者研修、認知	褥瘡予防 同症介護管理者	虐待・身体拘束防止 避難訓練 が研修、10の研	水害について	対策	ユニットケア について 加する。③	身体拘束・ 虐待	介護記録	看取り
人材育成)	る。	①職員が協力できる体制整備 ②健康管理 ③自己啓発 ④安全衛生管理	通年	・ 有給休暇の	の取得や希望と をもってもら <i>え</i>	゛おりの休暇が ₋るよう資格取? ┃	とれるようにす 得や研修への参	rる。② s加を勧める。 ④雇入時	定期健康診断健康診断、 腰痛	「 厨房職員 痛検査、給食職	: 員検便検査	1.ノロウィルスを 菌点検、施設内タ			夜勤者健康診断

施設	佐部の見仕的日標	指標・成果	到達	到達											
目標   施設の具体	施設の具体的目標		時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
健全経営		利用者の満足度、家族との信頼 関係を形成して、利用目標値の 達成に努めます。					援センターや原ジや運営推進会				言を行い利用者	の確保へつなり	<b>ずる</b> 。		
地域貢献		①地域活動への参加 ②地域への情報発信	通年			・運営推進会 ・施設が地域	訓練等、地域行議(2か月に1 の方々の相談窓配布し、施設内	回)開催。① 『口として機能	していること	を知ってもらう					
利用者サ	利用者の一人ひとりの状態に合わせて統一したケアができるよう、ケアプランに沿ったサービスを提供する。	①統一したケアの提供 ②職員研修参加	通年			・利用者本位	に基づいたサー という大原則を 内研修を実施し	もう一度確認	し、実際に提						
ービスの向上	よる評価、個別ケアの検討、振	③行事	通年		3		頃の介助の状況 に係る学習をし ねぶた祭り		者を支援する 敬老会		方法、技術を学	さび実践する。( クリスマス会	② お正月	節分	ひな祭り会
人材確保	職員研修を実施しレベルアップ を目指す。 1	①毎月1回の内部研修の実施 ②避難訓練 ③外部研修への参加	通年		① ② ③		虐待・身体拘 東防止 実践者研修、認	感染対策・ 事故防止 対策 郊策 郊証介護管理	看取り 避難訓練 者研修、10の	防災訓練	,虐待・身体拘 束防止	事故防止対策	接遇	介護記録	プライバシー・個人情報保護防災訓練 避難訓練
(人材育成)	働きやすい職場の風土をつく る。 2	①職員が協力できる体制整備 ②健康管理 ③自己啓発 ④安全衛生管理	通年		2	・有給休暇の	期的に面談を行い、気軽に話せるような場を設けるなどの工夫を仕組み的に行う。①  給休暇の取得や希望どおりの休暇がとれるようにする。② りがいをもってもらえるよう資格取得や研修への参加を勧める。③  定期健康診断  定期健康診断  雇入時健康診断、腰痛検査  消防設備・電気設備・ボイラー・施設内外大掃除								

# 特別養護老人ホームささえ職務分担表

職名	職務分担
	・従業員の労務管理を行う。
	・ 指定介護老人福祉施設入所者生活介護の利用申し込みに係る調整を行う。
施設長	・業務の実施状況の把握その他の管理を一元的に行う。
	・ 従業員に対し「青森市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例」のうち運営に関する基準を遵守させるために必要な指揮命令を行う。
	・施設の入退居に係る面接手続き・相談・支援を行う。
生活相談員	・ 従業者に対する相談助言及び指導を行う。
	・ 苦情・相談対応、居宅介護支援センター等の関係機関との連絡・調整を行う。
介護支援専門員	・ 入居者の課題分析、サービス担当者会議を開催する。
(防火管理者)	<ul><li>適切なサービスが提供されるように介護計画を作成及び実施状況を把握する。</li></ul>
	・防火管理を行う。
	・ 入居者の心身の状況等を把握し、入居者に対する必要な介護を行う。
	・食事、排泄、入浴等介護全般を行う。
介護職員	・ 入居者の健康管理を行う。
刀 咬帆只	・行事の計画立案および実施する。
	・ レクリエーション活動を行う。
	・ 日常生活リハビリを行う。
看護職員	・ 医師診療補助及び医師の指示を受けて入居者看護、健康管理及び保健衛生業務を 行う。
有曖慨其	・入居者の健康管理を行う。
	・ 他の介護サービス事業者、医療機関等との連絡・調整を行う。
機能訓練指導員	・ 日常生活を営むのに必要な機能を改善し、またはその減退を防止するための訓練を行う。
	・栄養ケア計画及び栄養計算、献立の立案を行う。
	・入居者に提供する食事管理を行う。
栄養士	・入居者の栄養指導を行う。
	・食材仕入れの発注を行う。
	・ 厨房内の設備、職員の衛生管理全般を行う。
調理員	・栄養士の作成した献立表による調理全般を行う。
夜間業務員	・夜間時の緊急事態に備える業務を行う。

# グループホーム合浦職務分担表

職名	職務分担
	・従業員の労務管理を行う。
	・ 利用申し込みに係る調整を行う。
	・ 業務の実施状況の把握その他の管理を一元的に行う。
	・ 従業員に対し「青森市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び 運営に関する基準等を定める条例」のうち運営に関する基準を遵守させ るために必要な指揮命令を行う。
管理者	・ 施設の入退居に係る面接手続き・相談・支援を行う。
	・ 入居者の課題分析、サービス担当者会議を開催する。
	・ 従業者に対する相談助言及び指導を行う。
	・ 苦情・相談対応、居宅介護支援センター等の関係機関との連絡・調整を 行う。
	・防火管理を行う。
	・ 適切なサービスが提供されるように介護計画を作成及び実施状況を把握 する。
計画作成担当者	・ 連携する介護老人福祉施設、介護老人保健施設、医療機関等との連絡・調整を行う。
	・ 入居者の心身の状況等を把握し、入居者に対する必要な介護を行う。
	・ 食事、排泄、入浴等介護全般を行う。
介護従事者	・ 入居者の健康管理を行う。
	・ 行事の計画立案および実施する。
	・ レクリエーション活動を行う。
	・ 日常生活リハビリを行う。

### 社会福祉法人 慈青会 組織図

